

製造業を中心に円安による仕入れ上昇分を、販売価格へ転嫁している状況が多く聞かれた。

製造業では「鉄鋼・非鉄・鋁業」で56.8% 「飲食品・飼料製造」で52.3% 「化学品製造」で50.0%と5割を超える企業で転嫁している。

特に対策をしていない企業からは「あまりにも急な円安のため、何もしていないのではなく、何もできていないのが正直なところ」などの意見が聞かれた。有効回答企業数は1573社の回答。

これまで、日本経済に良いとされてきた円安に企業や家計が悲鳴を上げている従来の「常識」が揺らいだ背景には企業の実力や政策の有効性の低下がある。円安観の再考が求められている。

1ドル=126円 今や重荷 2002年以來の円安水準に逆戻りした。新型コロナウイルス禍でインバウンド(訪日外国人)が消滅した。ウクライナ危機が石油・天然ガスなどの輸入物価を押し上げている。

円安のデメリットが際立つ特異な環境にあるのは確かだ。円安が重荷になる根底にあるのは国内産業の競争力の停滞がある。かつては円安になると外貨建の販売価格を下げ、輸出を増やせた。現在は企業が生産拠点を海外にシフトし、円安でも国内からの輸出は増えない。2012年からのアベノミクスの円安局面では、輸出数量の増加は1割にとどまった。有力企業の生産や研究の拠点が減少した国内では「残らざるを得ない企業」が残り、製造業全体の生産性低下を招いた。技術革新などを反映する「全要素生産性」の伸び率は低下が続く。

円安による輸入コスト増をものとし、付加価値の高い製品やサービスを国内で生めなくなった。

この20年、円安や低金利の追い風を企業は生かせていない。

企業を力高め、賃金を引き上げる好循環の実現がなければ、円安による値上げに家計は耐えられない。

そのためには日本でしか作れない製品やサービスをどう生むか。

ソニーグループは2015年に液晶テレビなどでは海外生産の委託を進めたが、画像センサーは国内で生産し、輸出し今のソニーの成長をけん引する。

円安依存から脱却し、新しい付加価値を生み出さなければ、家計まで富を広げる役割は果たせない。

これまでの発想を転換して、新しいイノベーションにチャレンジ致しましょう。

ありがとうございました。

3. ニコニコ報告 竹内 弘 親睦委員

野田 会員……先日はお忙しい中、歓迎会を開いていただき感謝致します。ありがとうございました。

澤田 会員……大嶋会員 バマアツ、フィリピンへの衣類、ガーゼのご寄付をありがとうございました。いつも感謝しています。

沖、山川、岡野、北野、岩崎、岡本(真)、洪、林、中西、

中村、藤井、小島、片岡、中嶋、俣野、竹内、天野、清水、

中井、新川、大嶋、宮原、井澤、塩尻、篠藤、岡本(茂)、坂本、

各会員……花冷えて肌寒い日が続いています ロナ感染も心配ですが風邪にもご注意ください

4. 出席報告 俣野 富美雄 副SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 37名 出席会員数 34名(内 ZOOM2名参加) 出席率 92%

第1449回(3月14日) 修正出席率 97%

5. 社会奉仕フォーラム

「献血の現状について」

大阪府赤十字血液センター 献血推進課 國和 昌浩 様



先に、社会奉仕委員会の中嶋委員長より國和様のご紹介をしていただき、そのあとお話をさせていただきました。

わが国では、医療に必要な血液はすべて「献血」によって賄われています。献血へのご理解とご協力が、輸血を必要とする患者さんの「命」、「健康」を守ります。ぜひ、献血の現状をご理解いただき、より多くの方に「献血の輪」が広がれば幸いです。輸血用血液製剤は、がんや白血病、手術、出産時の大量出血など、病気やケガと闘っている患者さんに使用されます。その輸血用血液には、有効期間があり、長期間保存することができません。血小板はわずか4日間、赤血球は21日間、血漿は1年間、適切な温度管理により保管されています。大阪府内の医療機関では毎日 1,000 人以上の輸血用血液製剤が使用されています。血液は、栄養や酸素の運び、病原体から身を守り、止血をするといった生命の維持に欠かせない役割を担っており、人工的に造ることができません。そのため、日々途切れることがないように年間を通じて献血のご協力をお願いしています。

日本人の血液型は、A型 40%、O型 30%、B型 20%、AB型 10%の割合で分布されています。特に冬場、心筋梗塞、脳卒中、また臓器移植など大量に血液が使用されます。一時的ではありますが、型別で血液が減少することもあり、血液型別に献血依頼をする機会が増えています。

献血者数の推移ですが、令和2年度は全国では、5,037,920人、大阪府では396,847人の方に協力いただきました。大阪府では平成3年(560,580人)をピークに減少しています。その当時と比べると、献血者数は約30%減少となっています。年代別では10～30代の献血協力が、約20年前と比較すると半分以下に減少しています。少子化の影響により人口減少という社会背景はありますが、それを上回る献血人口の減少となっております。献血は採血基準により69歳でご協力いただけなくなります。将来の輸血医療を支えていただく若年層の献血増加が喫緊の課題であります。

このコロナ禍においても献血は必要です。如何なる状況下でも医療体制を維持するため、止めることのできない事業です。新型コロナウイルス感染症の影響により献血いただける企業、団体の中止、延期が相次ぎ、安定的な献血者募集が困難な状況となっております。病気やケガなど血液を必要としている患者さんのためにも、より多くの方に献血の現状をご理解いただき、一人でも多くの献血協力が繋がることを願っています。本日はこのような機会をいただき誠にありがとうございました。

★5月例会予定★

日		司会	プログラム	歌	その他
9	青少年奉仕月間	清水	フリートーク	「君が代」 「四つのテスト」	お誕生日お祝い 理事会31階「カトレア」13:40～ お食事:洋食
16	春のライラ (5/3～5)	清水	フリートーク	「船場ソング」	新旧クラブ協議会 31階「カトレア」13:40～15:40 お食事:軽食
23	5/23 職場見学 (アド・ダイセン)	清水	フォーラム: 青少年奉仕	「奉仕の理想」	フォーラム ～14:00 お食事:和食
30		平山	創立34周年記念 例会・懇親会	「それでこそロータリー」	次年度役員会31階「カトレア」16:00～17:00 例会32階「スカイテラス」17:00～17:50 懇親会32階「スカイテラス」18:00～20:00

・・・大阪弁の話・・・

小山 章松

70数年大阪弁を使っている。

司法修習時代東京(正確には千葉県松戸市)での寮生活でも寮生は圧倒的に関西出身が多かったので、大阪弁が支配していた。

東京の寮生は、大阪弁がほとんど理解できなくて、名古屋出身の修習生に通訳してもらっていた。(50年ほど前の話である)

こちらも、東北弁、鹿児島弁が外国語に聞こえた。

大阪に職場がある人でも関西出身者でないと、はじめのうちは大阪弁を理解できなくて商売で困ったのでは。。最近読んだ、田辺聖子著「大阪弁ちゃらんぼらん」(中公文庫)の中から代表的な大阪弁を抜粋します。

意味が分かりますか。

- 1 ああしんど しんどい
- 2 あかん わや 「触れたらあかんで」「コロナ禍でうちみたいな中小企業はワヤですわ」
- 3 けったいな 「けったいなおっさんや」
- 4 すかたん 「すかたんしよって」
- 5 こまんじゃこ 細ん雑魚 子供のこと
- 6 あんばい 塩梅 「あんばいしといて」
- 7 しんきくさい 「しんきくさいやつや」
- 8 いちびる

まだまだ続きますが、田辺さんは大阪弁のもっともちゃらんぼらんなのは「あんじょう頼んまっさ」であろうと書いています。

また、語尾こそ大阪弁を形づくる特徴であるとしています。

その中の代表が「てんか」と「や」と言っておられます。

「お金かしてんか」「お金かしてえや」「早う課長さんになってや」「出ていってんか」

この本は1978年に出たものですが、今再販され書店にあります。

田辺さんが亡くなってからもうすぐ3年になります。